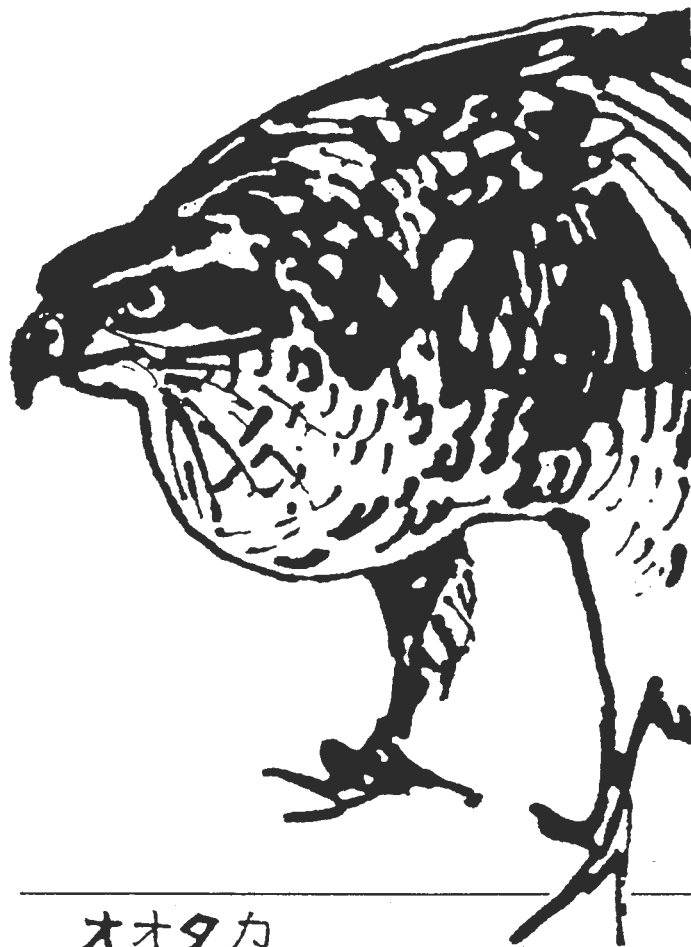


No.5



天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

やませみ



オオタカ

かつては国内で広く見られましたが、開発の影響で激減してしまいました。全国的に生息数が数百羽と少ない大変貴重な野鳥です。1992年6月に制定された「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」で「国内希少野生動植物種」に指定され、生育地の保護もうたわれています。

この鳥は、多くの樹木、そこに生息する昆虫、それをエサとする小動物…というような食物連鎖の頂点に位置する動物で、オオタカが生息可能な場所というのは、その背後に豊富で、健全な自然が広がっている事の証明になります。

天覧山・多峯主山に現在残されている自然は、そのオオタカが住むのにギリギリな広さとなってしまっているのです…。

ひとりひとりの
力が
かにはります。



開発計画の変更を是非訴えて下さい！

◆飯能市役所 (小山誠三)

☎357 飯能市双柳一―

☎代表 73・2111

◆埼玉県庁 (土屋義彦)

☎336 浦和市高砂三―五―

☎代表 048・824・2111

◆業者 西武鉄道株式会社 (杉野)

☎359 所沢市くすのき台

一―一―

☎代表 0429・26・2136

◆環境庁 (石井寿喜男)

☎100 千代田区霞が関

一―一―

☎代表 03・3581・3351

オオタカを守るために
「天覧山・多峯主山を守る会」の会員に
なろう活動してみませんか？



天覧山・多峯主山周辺の自然を守りたいという目的に賛同して下さる方はどなたでも会員になります。会の活動は…。

●月一回の例会…第二、第四金曜日

夜七時半

織物会館一階

●月一回の山歩き・原則として

第二日曜日

●会報「やませみ」の発行

●会費…①維持会員

一般会員・年会費二千円

ファミリー会員

・年会費三千元

②協力会員・会費はありません。イベント等、ご協力下さい。

会員の申込み用紙、会報「やませみ」、市長へのお手紙の用紙などは、事務局

や左記の住所の所に置いてあります。

★谷口眼科 ★銀河堂

また、環境調査、経済的、社会的影響

調査、チラシ配り、印刷、会報作り、

その他諸々のボランティアを必要としています。ご協力頂ける方は事務局までご連絡下さい。

●会費・カンパ等の振込先

▲郵便振込口座

(名称) 天覧山・多峯主山の自然を守る会

(番号) 00580・9・16342

発行日/1996年5月30日

事務局/浅野正敏 74-1691

編集局/早瀬あかね 77-1890

編集・発行/天覧山・多峯主山の自然を守る会 小舟明子 72-4602

やませみ

オオタカの本林の保全 よその町や村では？

◆比企郡鳩山町の場合

来年オープンを予定している鳩山国際カントリークラブでは、一九八九年に県の許可も下り、着工寸前になっていました。それに対して「熊井の森を残そう鳩山町民の会」などが、予定地内でオオタカが営巣している、として計画の凍結を申し入れていました。

一九九二年の三月七月、三者（業者、市民、県生態系保護協会）は十一回にわたって現地を調査し、クラブハウス予定地でオオタカが二羽のヒナを育てているのを確認しました。

その結果、業者はオープンを一年遅らせ、計画を大巾に変更することを決断し、予定地の4が「生態系保護ゾーン」として残されました。「町民の会」では、隣接する民有地も保護地区にするよう町に働きかける計画です。

◆厚木市の場合

厚木市では二年後に開かれる神奈川国体のために総合運動公園を造る計画をたてていました。ところが一九九三

FROM EDITORS

編集室から



オオタカがこんなに町の近くの、あんな小さな森の中に住んでいる。それだけでも人間の世界の自然の貧しさはじゅうぶんなのに、そのオオタカにさえも子を産み育てる事を妨害する人間がいる。オオタカの住める環境は人間が生きてゆく為に必要な自然のはず、自分の首をしめている人間がその事に気付いてくれれば良いのに……

年春に予定地から三〇メートルの林にオオタカが営巣していることが判りました。市民からの要望もあり、市長は縮小、又は凍結を表明しました。

一年間かけての調査が行われ、学識者を含む検討委員会が設けられました。委員会の結論は、林の保全と計画の見直し、そしてオオタカの観察継続でした。

市は、ソフトテニス会場を他へ移し、分散開催を含め目下検討中、ということとで、今だに工事は始まっていません。

この他にも「オオタカの森トラスト」として市民が始めて、市や県までも動かしている所沢市、狭山市。市長提議で、「白馬村における希少動物の保護に関する条例」を制定し、長野オリンピックの会場を大巾に変更した長野県白馬村など。

オオタカをめぐる動きは日本全国に広がっています。市民と行政が協力しあって保全している例も少なくないことを知りました。五月十六日の「守る会」の意見で、「市としても対策を講じざるを得ない」とおっしゃった小山市長さん。私たちは期待しています。

「オオタカを救いたい」この思いで配ったチラシへの反響はものすごいもので、たいへん驚かされた。子供や、お年寄りはもちろん、いつもは無関心の若者までチラシを受け取ってくれた。何本もの電話をいただき、仲間も増えた。私たちは体の奥深いところでオオタカの住めない世界に、私たちも住めないのだという事を感じているのかもしれない。こうゆう私たちの終末感からか、長野県白馬村、神奈川県厚木市、京都府木津町など行政みずから土地利用計画を変更したり、希少動物の保護に関する条例を制定するなどして、生育地の保護にのりだした。希少生物の保護が街づくりを大きく変える時代になってきた今、飯能市もこの流れを深く自覚して、街づくりを見直してくれたらと切に願う。

環境庁へ オオタカの本林の保全を 求めました

環境政務次官から、次のコメントを戴きました。

・全国にオオタカの本林の危機がある中で、飯能をモデル地区となるよう重要視したい。

・県の担当課を呼んで詳しい事を聞きたい。

・開発業者と市民団体との話し合いが必要ではないか。

・政務次官自身、トンボに関心があるので、五十八種の生息には驚いている。子供にはトンボと遊べる環境が必要だ。

出かけてみませんか？ 『日曜リバー・里散歩』

今回の『ふる里散歩』は埼玉県生態系保護協会主催、レッドデータ（絶滅に向かっている生き物）探しの「トラストバードソン96」に参加します。

「チームやませみ」のサポーターとして、一緒に天覧山・多峯主山を歩きましょう。

バードソンとはバードウォッチングマラソンの略で、欧米で自然環境を保全するために盛んに行われているイベントです。

・決められた時間内に
・チームごとに各フィールドをまわり、野鳥や草花の確認種数を競うものです。

主催・埼玉県生態系保護協会

飯能、名栗支部

・はんのう景観トラスト

●とき 六月九日（日）

●集合 能仁寺山門前 午前九時半

●参加費 （保険料・希望者のみ）

●持ち物 お弁当、水筒、雨具

・七月のふる里散歩は、七月七日（日）を予定しています。